



話し合っていますか？

家庭のルール

～安全で安心なインターネット利用のために～



GIGA スクール構想によって学校からタブレットが貸し出されることになり、子どもたちに「1人1台タブレット」の時代がやってきました。また、スマートフォンやゲーム機など、インターネットに接続できる機器が普及し、多くの子どもたちが、それらを手にする機会が日常的なものとなっています。それに伴い、生活習慣の乱れや、ネットいじめなどの問題、さらには、子どもが犯罪の被害者や加害者になってしまうことも少なくありません。保護者の知らない機能を活用している子どもにとっての「普通」は保護者の「普通」とは別物と言えそうです。安易に「大丈夫だろう」と考える前に、インターネットの特性や危険性を正しく知り、子どもたちがどのような環境でどのような機能を使っているかを把握することが大切です。実際に子どもたちがインターネットを利用する場面は、家庭が最も多いと考えられます。そのため、保護者が適切に見守り、ルールを作って守らせることは、被害から子どもたちを守るために必要なことであり、保護者の責務でもあります。子どもたちにタブレットが配布される今、家庭でのルールについて話し合ってみましょう。

保護者の責務

「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律（青少年インターネット環境整備法）」

法律にも子どもにインターネットを利用させる際の保護者の責務が規定されています。

- ・子どものインターネット利用状況を適切に把握する。
- ・フィルタリングなどの利用により、子どものインターネットの利用を適切に管理する。
- ・子どもがインターネットを適切に活用する能力の習得の促進に努める。
- ・不適切な利用により、犯罪の被害、いじめなど様々な問題が生じることに留意する。

子どもを守る『家庭ルール』

低年齢の子どもほど危険に対処する力が低く、被害に遭う危険性が高いため、フィルタリングによる機能制限や『家庭のルール』などによって子どもを守る必要があります。

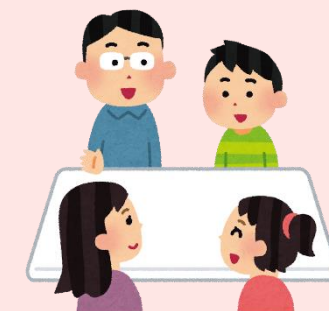


●ルールを作る時のポイント

はじめが大切

決められたルールを守れないということはないでしょうか。
ルールは大人が一方的に決めるものではなく、子どもと一緒に作る事が大切です。

- Point1 「ルールがトラブルから自分自身を守ってくれる」ことをきちんと伝える。
- Point2 お互いに納得できるよう、話し合って作る。
- Point3 子どもが守れるルールを作る。
- Point4 具体的なルールを作る。
- Point5 守れなかったらどうするかを決めておく。
- Point6 トラブルがあったら保護者に相談するよう決めておく。



STEP 1 初めてのインターネット期

サイトや動画の閲覧のみ許可し、SNS等は禁止



利用時間を家庭で決める

生活のルールやリズムを守ることを前提に、利用時間をご家庭で話し合って決め、インターネットを見て楽しみます。
この段階では閲覧のみに制限しましょう。

- ☐ ゲームとネットを合わせて、使っているのは1日 ____ 分までです。
- ☐ 保護者にことわって、近くで使います。
- ☐ 食事中や家族で過ごしているときは使いません。
- ☐ 夜 ____ 時以降は使いません。使い終わったらリビングで充電します。

STEP 2 インターネットレベルアップ期

家族間に限って、メールの利用を認める



家族限定でコミュニケーション

利用時間のルールが守れ、使い方にも慣れたら、家族間でメールをやり取りしてみましょう。文章の書き方など、上手な気持ちの伝え方をアドバイスしましょう。

- ☐ 家の中ではリビングで使います。
- ☐ 話しかけたら手を止め対応します。
- ☐ 決まった人からのメール以外、返信やアクセスはしません。
- ☐ 変わったことや困ったことが起きたら、すぐに相談します。
- ☐ 公共の場で利用するときは、ルールやマナーを守ります。

STEP 3 SNSデビュー期

顔を知っている友人や知人に限定してメールやSNSの利用を認める



友人知人とのやり取りもチェック

メールの利用に慣れたら、仲の良い友人や知人に限り、SNSやメールを許可します。
家庭内のコミュニケーションを保ち、時々やり取りの様子を見せてもらいましょう。

- ☐ 自分や友達の個人情報（名前・住所・学校名など）や、写真はネットに公開しません。
- ☐ メールやSNSは実際に会ったことのある友達だけにします。
- ☐ 自分が言われて嫌な事や悪口はSNSやメールで送れません。
- ☐ 目的をもって利用します。目的を終えたら、タブレット、スマホから手を放します。

●ルールを作ったあとの見直し

子どもは、成長とともに、危険に対応する能力も育ちます。また、進級進学や部活動、習い事などのために生活リズムや使う目的が変わり、これまでのルールでは守ることが難しくなることもあります。

- Point1 子どもの成長に合わせてルールを見直しましょう。
- Point2 生活リズムなどの変化に合わせてルールを見直しましょう。

●大人も意識を高めましょう

子どもは、大人が日常的にインターネットを利用する姿を見えています。保護者自身が正しい使い方を見せることで、子どももそこから学ぶこともあります。

- Point 保護者自身もインターネットの知識を深め、適切な利用方法を考えましょう。